

# 敬老特別乗車証交付事業について

## 【敬老パスの目的】

- ・高齢者が心身の健康を保ち**社会活動に積極的に参加する**ことができるよう、敬老特別乗車証を交付し、老人福祉の向上を図ることを目的とする。

## 【敬老パスの内容】

- ・昭和50年8月から**75歳以上**の市民を対象に、市営バスの**無料乗車証**として、社会参加・外出支援・健康増進を目的として制度を開始
- ・現在は「西肥バス」「させばバス」において利用可能（JR、MR、タクシーは利用不可）

## 【取り巻く現状】

### 1. 敬老パスの現状

- ・敬老パスの運行経費 ➤ 市は年間約4億7千万円を負担（上限額）（実運賃との差額は事業者負担）
- ・交付率は約50% ➤ 約半数の方が、何らかの理由で交付申請をしていない。
- ・利用乗車回数 ➤ 年々減少傾向

### 2. 路線バスの現状

- ・運転士不足 ➤ 路線の縮小や減便
- ・コロナ禍などの影響 ➤ 経営状況の悪化

## 【参考】他自治体における類似の制度は、下記のとおり ※本市同規模の市（令和5年現在）

- ・何らかの高齢者交通費助成制度がある ... 55市のうち、43市（78.2%）
- ・助成制度のうち、一部でも自己負担あり ... 43市のうち、41市
- ・助成制度のうち、**まったく自己負担なし** ... 43市のうち、**2市（佐世保市含む）**

## 【市民等からの意見】

- ・交付率の観点から、事業の効果・公平性において十分ではない
- ・居住地域により、平等な制度となっていない
- ・松浦鉄道など、他の交通手段でも利用可能としてほしい
- ・制度維持のため、利用者負担を徴取してもよいのではないか



## 【見直しにおいて考慮すべき内容】

- ・取り巻く環境は大きく変化しているものの、パス制度は旧態依然のままである。
- ・高齢者の移動支援についてはニーズが高い状況
- ・不公平感をなくし、健康増進に繋げる事業

➤対象となる市民に、不公平感が無く、目的に沿った事業となるよう制度内容の見直しが必要

## ➤敬老パス 交付者の推移

| 交付者推移 | 平成30年度     | 令和元年度      | 令和2年度      | 令和3年度      | 令和4年度      | 令和5年度      |
|-------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 交付者数  | 22,378人    | 22,559人    | 22,573人    | 20,402人    | 22,179人    | 22,581人    |
| 交付率   | 56.7%      | 56.6%      | 56.7%      | 51.5%      | 54.6%      | 54.0%      |
| 乗車回数  | 3,688,359回 | 3,618,919回 | 2,798,042回 | 2,755,551回 | 2,771,341回 | 2,762,792回 |

## ➤令和5年度実施 市民アンケート結果から

令和5年度実施「高齢者福祉（敬老関係事業）に関するアンケート」より抜粋

対 象 : 3,000人 (50歳から89歳までの市民を無作為抽出)  
 回答者数 : 1,750人 (回答率 58.3%)  
 うち75歳以上 : 931人 (回答者のうち、53.3%)

### ●敬老パスを持っている

75歳以上のうち、72.3%

(市街地 75.5% 周辺地域 58.8%)

### ●敬老パスを持っていない理由

①自家用車を運転しており不要 36.8%

②病気、要介護など、体の不調 23.1%

※周辺地域では「運転している」に次いで

「バスの便が悪く利用しづらい」が多い

### ●敬老パスを使って外出する目的

①病院や施設への通院・通所 38.8%

②買い物 36.1%

③趣味やレジャー 8.8%

### ●敬老パスは必要だと思いますか (50歳～89歳の回答)

絶対必要 41.7%

必要 40.3%

### ●利用者負担の是非 (50歳～89歳の回答)

①無料のままだがよい 63.8%

②利用者負担があってもよい 36.2%

### ●その他の意見 (高齢者の健康増進対策について)

・交通費助成に関すること (66.6%)

※敬老パスの継続

※乗り合いタクシー

※交通不便地区への支援

・文化、娯楽、趣味など (33.4%)